

会 議 録

会議名	令和5年度第1回東浦町文化財保護審議会	
開催日時	令和5年7月14日（金）午前10時から正午まで	
開催場所	郷土資料館 講座室	
出席者	委員	石原弘幸氏、河合美三男氏、鈴木勝美氏、鬼頭秀明氏、田中央氏、福岡猛志氏
	事務局	横井教育部長、佐東生涯学習課長、楠文化財係長、花原主事
欠席者	高部淑子氏、庄子教育長	
議題等	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 令和4年度郷土資料館事業実績について (2) 令和5年度郷土資料館事業計画について 4 協議事項 (1) 緒川村郷蔵の解体後について (2) 緒川城址土塁の修復について 5 その他	
傍聴者の数	なし	
審議内容	<p>◆開会 出欠及び審議会成立の確認 次第に従い会議を進行</p> <p>◆あいさつ 石原会長あいさつ 教育長欠席により、教育部長があいさつ</p> <p>◆事務局 以降、会長が議事進行</p> <p>◇会長 次第に従い議事を進める。 次第3報告事項（1）令和4年度郷土資料館事業実績及び（2）令和5年度郷土資料館計画について事務局より説明を求める。</p> <p>◆事務局 資料1に基づき令和4年度郷土資料館事業実績について説明 緒川コミュニティセンターにある史跡散策コース案内板を修繕した。 緒川城址保存修復調査事業において、ボーリング調査の結果、緒川城址土塁は盛土であることが分かった。 緒川村郷蔵調査事業では、記録を残すため建造物の図面を作成した。</p>	

資料2に基づき、令和5年度資料館事業計画について説明
文化財消防訓練は文化財防火デーに合わせて実施予定。場所は未定。
緒川村郷蔵は11月から12月にかけて解体予定。
地域文化財総合活用推進事業では、生路地区の屋形を修復する。
また、二次募集があったため緒川神市場及び新町の屋形が申請した。
森岡小学校及び卯ノ里小学校に文化財PR動画の作成を依頼した。学
校と相談し、村木砦及び高根山烽火台、唐治屋敷常夜灯を取り上げ
る。

◇委員

文化財総合活用推進事業で行っている屋形の修復は、生路北組のほか、南組も実施するのか。

◆事務局

生路地区屋形は北組南組ともに2年かけて修復を予定している。

◇委員

史跡散策ルート案内板に、天白遺跡の二次元コードは設置しないのか。また、他の遺跡はどうか。ルート案内のチラシを作成する予定はあるか。

◆事務局

天白遺跡の二次元コードは案内板には掲示していないが、天白遺跡ひろばに掲示している。他の遺跡についても、小学生によるPR動画が作成されたのち、掲示予定。ルート案内チラシを作成する予定はないが、利用者から要望があれば作成する。

◇委員

屋形の修復では、修復箇所や修復前後の記録を残し、記録は資料館にも残すとよい。

◇会長

次第4協議事項(1)緒川村郷蔵の解体後について事務局より説明を求める。

◆事務局

令和4年度第2回文化財保護審議会において、郷蔵の黒壁を再利用した黒板塀(下見板張り)の設置を提案したが、郷蔵跡地にガス配給設備が移設されることになったため、郷蔵の跡地部分に黒板塀を設置することができなくなった。そのため、黒壁のあるまちの再現としてガバナから旧緒川小学校門柱まで黒板塀を設置する案を立てたが、今年度第1回目の景観まちづくり委員会で説明をしたところコミュニティセンターや児童館の外観に合わない、長距離にわたる塀は風の影響を受けるため維持管理にコストがかかるなどの意見があり、設置を見直すこととなった。

今のところは、郷蔵の部材を使用した説明板の設置を検討している。

◇委員

ガバナとは何か。現在と比較して大きくなるようだが、なぜか。

◆事務局

各家庭にガスを配分する施設で、移設後はフェンスを設置するため図面ではフェンスの範囲を示している。

◇委員

どんどん歴史的景観がなくなっていく中で、景観を守っていくという趣旨で景観まちづくりの話が進んでいるのか、新たな街づくりをしているのか、その辺がわからない。

◆事務局

景観まちづくり委員会では、すでに緒川地区の古い街並みがあまり残っていない中で、廃材を利用した黒板塀は現在の景観に合わないといった意見があった。

◇委員

江戸時代後期から続く緒川地区の落ち着いた街並みをとるに足りないものと考えているのではないか心配である。

今後も家屋の建て替えが続くなかで、歴史的な雰囲気が残る街並みにしたいのか、一部を残し近代化するのかビジョンが見えない。

◆事務局

景観まちづくり委員会でも、緒川の旧道沿いは黒板塀の景観という認識はしているが、所有者が壊すことを止めることができないため、変わっていく街並みの調和を目指していると聞いている。

◇委員

廃材で作成する黒板塀の長さが問題となったのではないか。実際の郷蔵の長さにしてはどうか。

◆事務局

郷蔵跡地は半分近くガバナに使用される。残りの部分だけであれば風の影響も受けにくく、維持管理も安易だが、児童の安全のため道路際にフェンスを設置することになるため、フェンスとの調和を考えて全体にしてはどうかと案を作成した。

◇委員

郷蔵跡地に黒板塀を残すことができない以上、黒板塀にこだわる必要はない。写真付きの説明板を残すことは意義があると思うが、黒板塀はなくてもよい。

◇会長

次第4協議事項（2）緒川城址土塁の修復について事務局より説明を

求める。

◆事務局

緒川城土塁の測量やボーリング調査の結果、盛土であることがわかった。土塁保存のため、斜面の崩落対策を検討している。
配布資料は道路工事に使用される斜面崩落対策だが、遺跡の修復に適しているのか、古墳や城址の修復事例を教えてください。

◇委員

古窯は崩落対策で樹脂を入れるが、土に樹脂を入れる話は聞いたことがない。土木工事の技術に頼る必要がある。コンクリートで固めてしまうのは反対するが、金属メッシュなら良いのでは。

◆事務局

金属メッシュが表面に出てしまうが良いか。

◇委員

文化財施設で同様のことを行った事例がないか調べる必要がある。

◆事務局

事例を調査する。

◇委員

金属メッシュをかぶせても、風雨で内部に水がたまり崩落することがある。排水対策など専門家の意見を求めたほうが良いのではないか。

◇委員

町として、この形をのこす、ということを念頭に、対策をとるべき。

◆事務局

視察等で土塁の修復方法を見聞きした際は教えてください。

◇会長

以上で次第4協議事項を終了する。
以降は事務局が進行する。

◆事務局

次第5その他について資料に基づき説明。

◇委員

町指定文化財の新規指定について、検討する時間を設けてほしい。

◆事務局

今後の文化財保護審議会で検討する時間を設ける。
閉会のあいさつ